



保険の先へ、挑む。

SOMPO ホールディングス

東南アジアにおける 農業従事者向け天候インデックス保険の展開

平成28年12月16日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
企業商品業務部 リスクソリューショングループ

1. 天候インデックス保険の必要性
2. 天候インデックス保険の特長
3. 天候インデックス保険の開発・販売の事例
(タイ、ミャンマー)
4. 天候インデックス保険の将来像

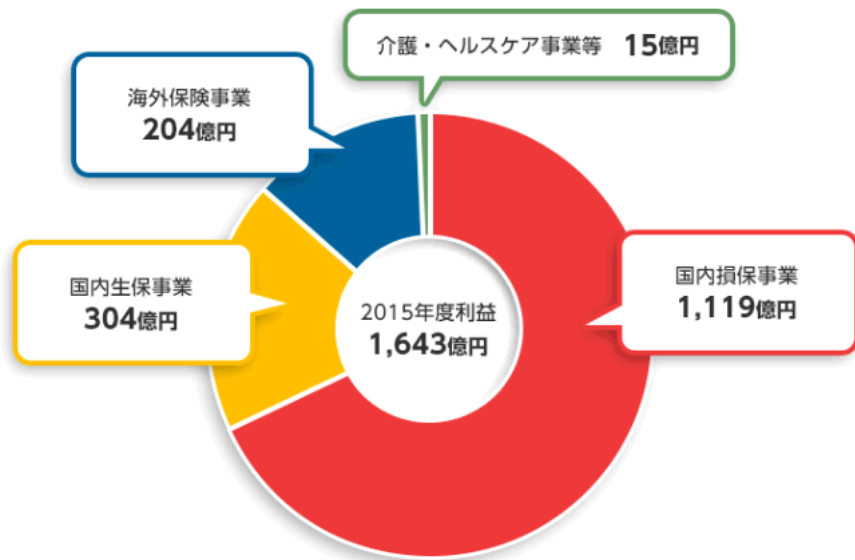
弊社グループのご紹介



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

国内損害保険事業を中心に、
国内生命保険事業、海外保険事業、
金融・サービス事業により構成されています。



「安心・安全・健康」に生活いただくための
幅広い商品・サービスを提供しています

損害保険



生命保険



介護・ヘルスケア等



(注) 上記の「利益」は修正利益であり、掲載方法は次のとおりです。

【国内損害保険事業】当期純利益+異常危険準備金繰入額(税引後)+価格変動準備金繰入額(税引後)-
有価証券の売却損益・評価損(税引後)-特殊要因(子会社配当など)

【国内生保事業】当期純利益+危険準備金繰入額(税引後)+価格変動準備金繰入額(税引後)+責任
準備金補正(税引後)+新契約費繰延(税引後)-新契約費償却(税引後)

【介護・ヘルスケア事業等】当期純利益


【海外保険事業】当期純利益(主な非連結子会社含む)

[ご契約者さま](#)
[ご検討中のお客さま](#)
[法人のお客さま](#)
[会社情報](#)
[環境・美術・社会貢献](#)
[お問い合わせ](#)
[ホーム](#) > [会社情報](#) > [会社概要](#)

会社概要



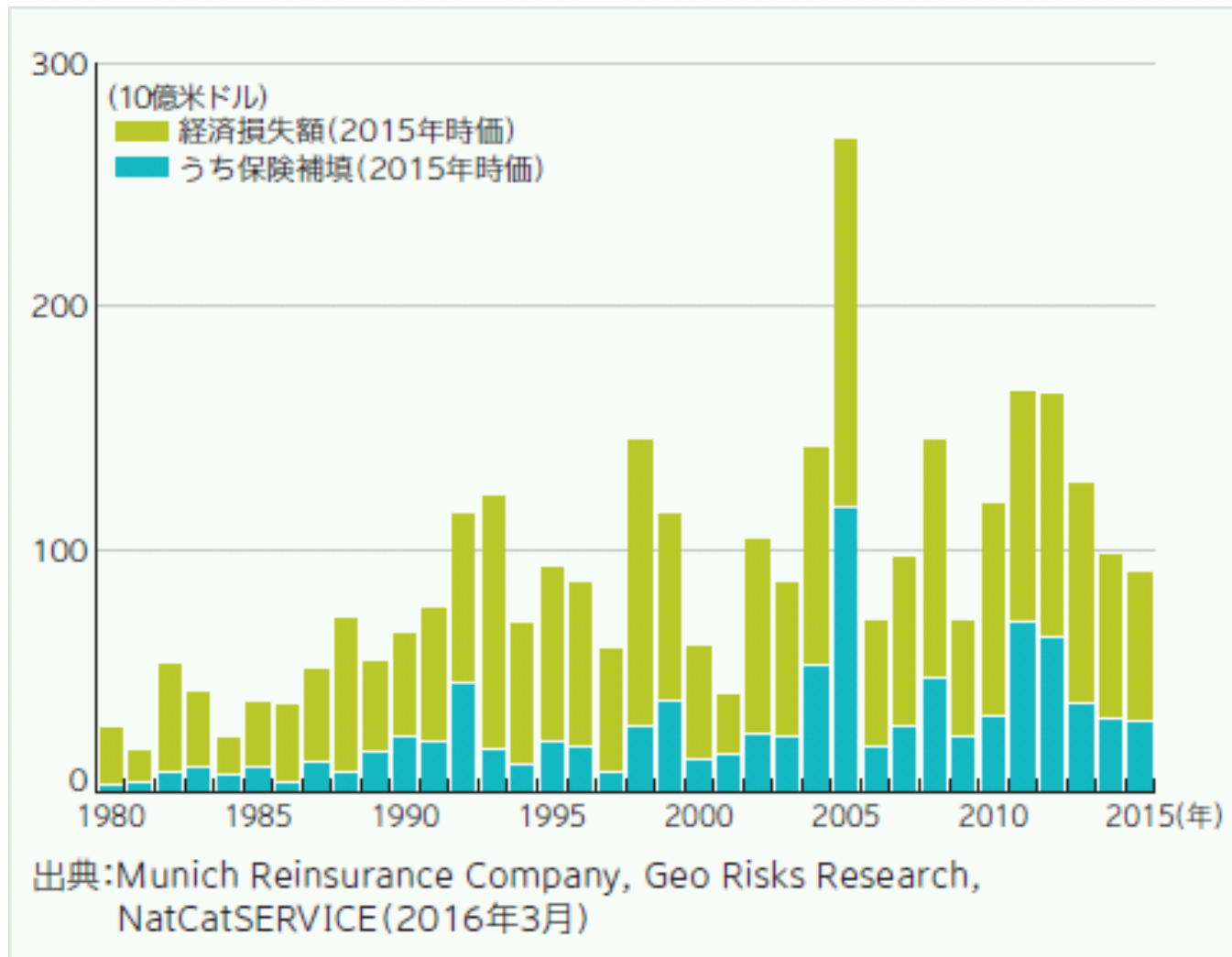
会社概要

名称	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 Sompo Japan Nipponkoa Insurance Inc.
創業	1888年（明治21年）10月
資本金	700億円
総資産*1	7兆362億円
正味収入保険料	2兆2,184億円（2015年度）
本社所在地	〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 ▶ （地図へのリンク） 
本社大代表	03-3349-3111
取締役社長	西澤 敬二
社員数*1	26,380名
代理店数*1	62,238店
国内拠点*2	支店・営業部 - 126 営業課・支社・営業所 - 559 保険金サービス拠点 - 308
海外拠点*1	32か国・地域、211都市

1. 天候インデックス保険の必要性

気象災害の経済損失と保険損害の推移

2005年の米国ハリケーン・カトリーナ、2011年のタイ大洪水、2012年の米国ハリケーン・サンディなど、世界各地で異常気象によると言われる経済損失・保険損害が増加する傾向にあり、地球温暖化が進行すれば、極端な異常気象による損害が更に増加すると言われています。

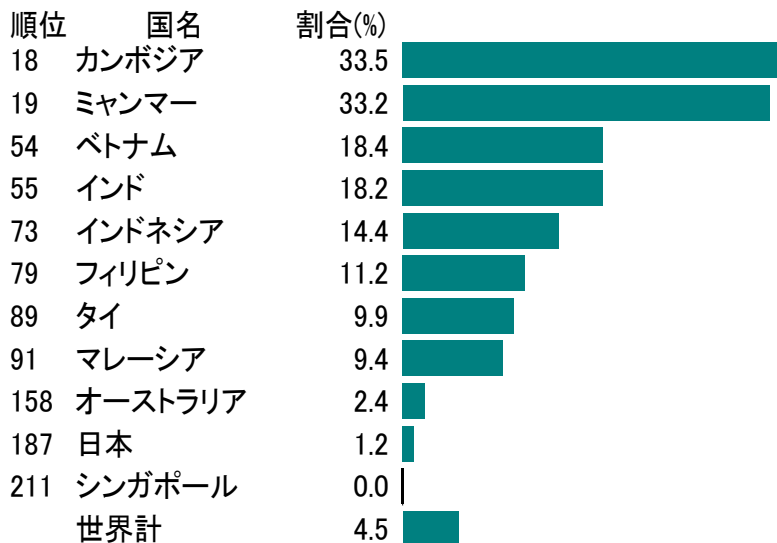


1. 天候インデックス保険の必要性

東南アジアにおける農業

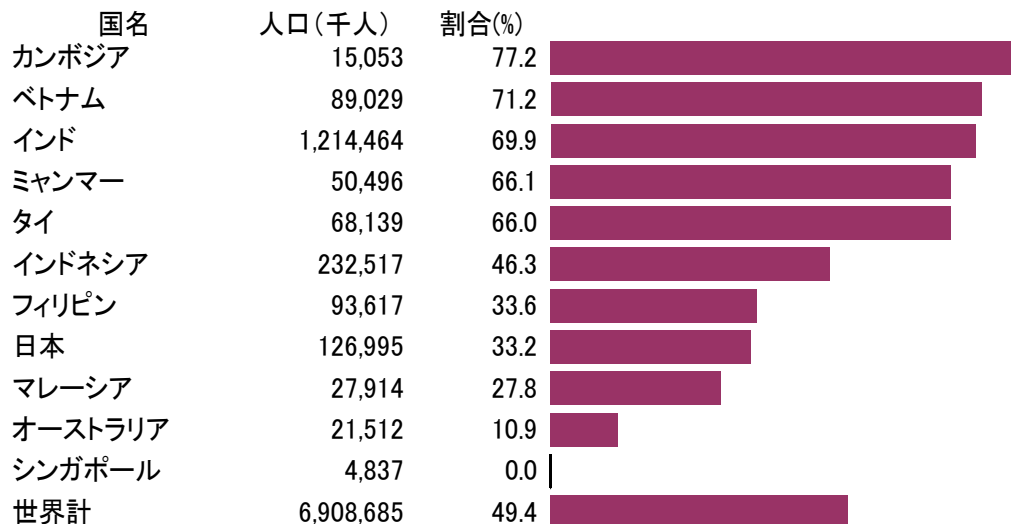
- 今後、気候変動に伴い**干ばつ**や**洪水**等の極端な気象災害が増加すると予測されている。
- 農業は、気候変動に伴う気象災害に**最も影響を受けやすい産業の一つ**。

農業生産額がGDPに占める割合(2013年)



出典: 国連(United Nations Statistics Division)

人口に占める農村人口の割合(2010)



出典: 世界食料農業白書2010-11

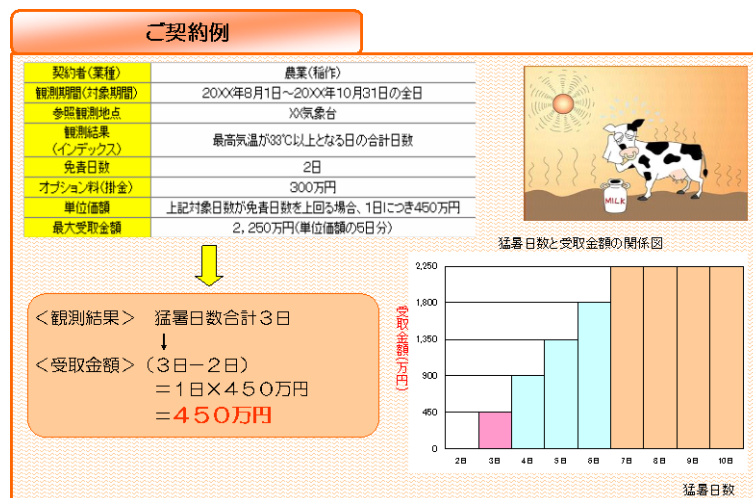
2. 天候インデックス保険の特長

天候インデックス保険の概要

- 天候インデックス保険とは、**極端な気象現象**によって被る、**収益減少・費用増大の損害**に対応する**保険**です。
- 収益減少・費用増大と関係がある**気象条件**(気温、風、降水量、積雪深、日照時間等)の**インデックス**を定めます。
- 上記のインデックスが、**事前に定めた条件を満たした場合に、あらかじめ定めた保険金額をお支払い**します。
- お支払いを受ける際、通常の保険とは異なり、**事故と損害の因果関係、実際の損害額(収益減少額、費用増大額)を証明いただく必要はありません。**
(事故の調査を必要としません。)

なお、これらの特長をそなえた商品は、国内においては天候デリバティブとして提供させていただいております。

(右記は農業法人のご契約例)



2. 天候インデックス保険の特長

農業分野における天候インデックス保険の特長

	天候インデックス保険	一般的な農業保険
概要	事前に約定した天候指標の条件に従い、定額の保険金を支払うもの	様々な原因による収穫量の減少に伴う収入減少を補償するもの
支払要件	実際の天候指標が事前に約定した天候指標の要件を満たすこと	損害(収穫/収入減少)の発生
トリガー	天候不順	天候不順、病虫害など
実損/定額	定額支払	実損てん補
ベースリスク※1	あり	なし
支払の迅速性	迅速支払	損害査定完了後の支払
事故の対応態勢	態勢構築が軽微	公正・迅速に対応する態勢構築の負担が大きい
モラルリスク※2	なし	あり(不熱心な生産活動を惹起するおそれ)

※1:ベースリスク : 実際の損害額と保険金の支払額の違いが生じること

※2:モラルリスク : 保険金の不正取得を目的とする道徳的危険

新興国においては、特に以下の点が小規模な農家の有効であると評価されています。

①保険金支払の迅速性 ②有無責のわかりやすさ ③モラルリスクの排除

3. 天候インデックス保険の開発・販売の事例（タイ）

タイの東北部では、天水農法で稲作を行っており、異常気象で雨季の降水量が少ない干ばつの年は、農家の収穫量と収入が減少します。

当社グループは、異常気象（気候変動）への適応策として、稲作農家を対象にした干ばつに伴う収入減少を補償する天候インデックス保険を2010年から販売を開始しました。

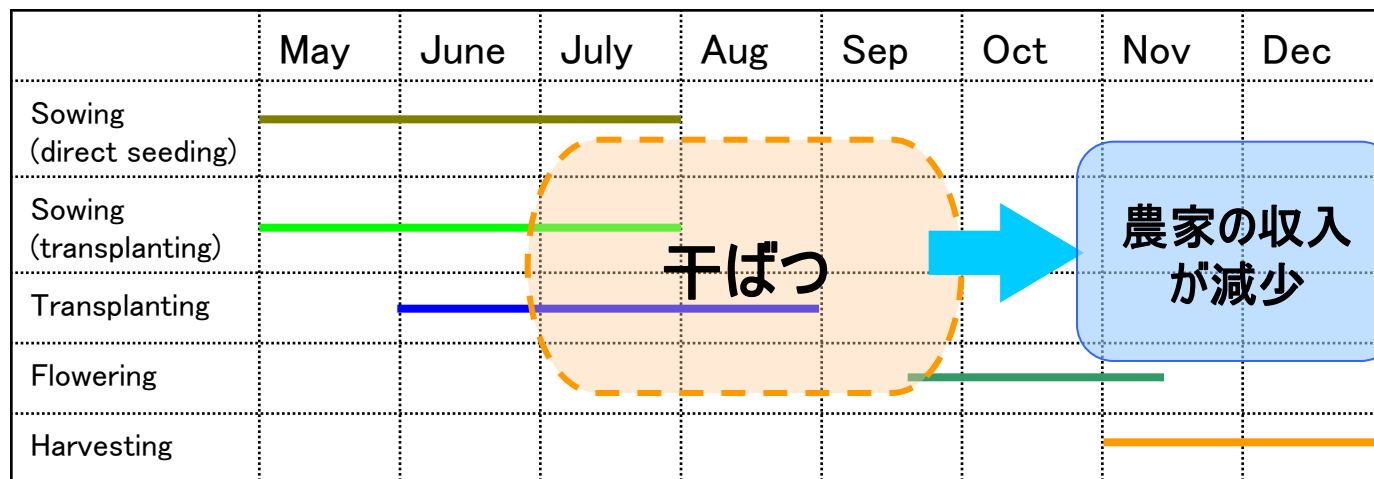
<タイ東北部の地図>



<稲作サイクル>



Pictures: Embassy of Thailand website, etc.



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/e1/Thailand_Isan.png

3. 天候インデックス保険の開発・販売の事例（ミャンマー）

天候インデックス保険の概要

2014年12月末に、一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）と共同で、人工衛星データを活用したミャンマーにおける天候インデックス保険商品を開発したことを発表しました。

天候インデックス保険の概要

(1) 保険対象者（被保険者）

対象地域の農家

(2) 対象作物

米、ゴマ

(3) 対象地域

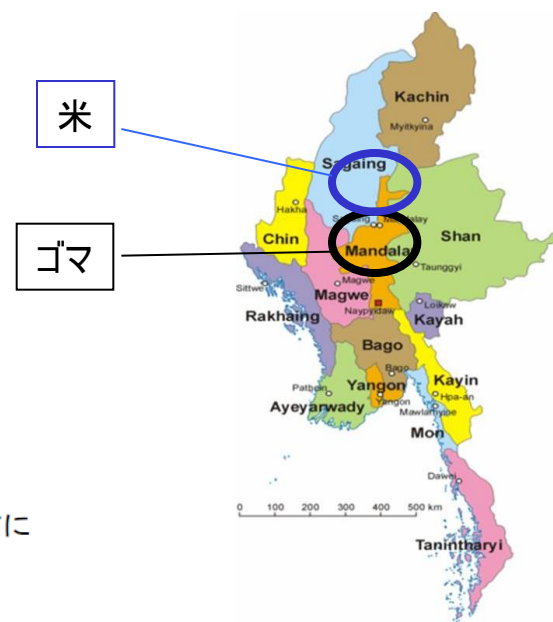
マグエ管区、ザガイン管区を含むミャンマーの中央乾燥地帯

(4) 対象リスク

干ばつ（雨季の少雨リスク）

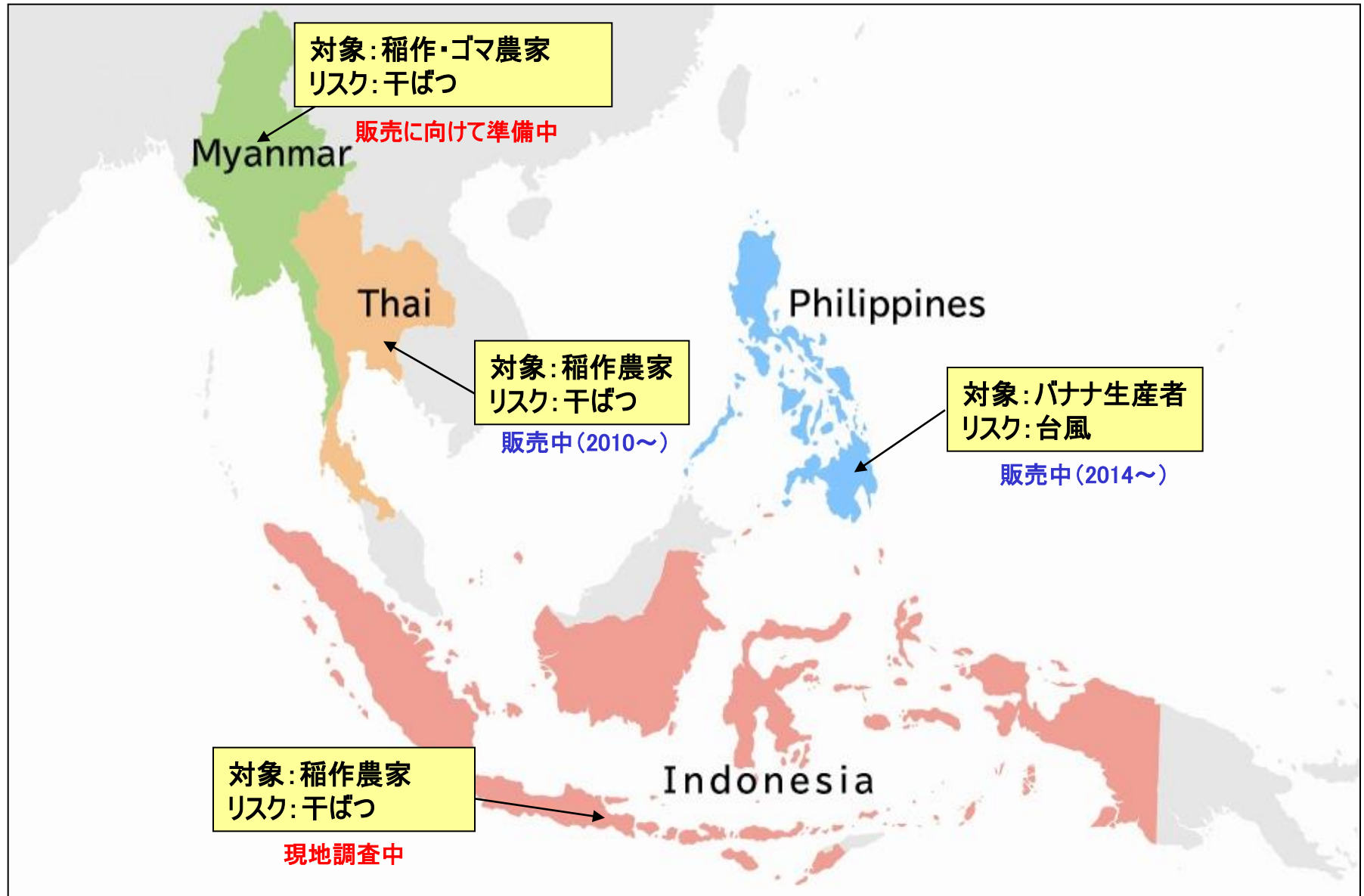
(5) 補償内容

人工衛星から推定された雨量が事前に定めた値を下回った場合に、事前に定めた金額を保険金としてお支払いします。

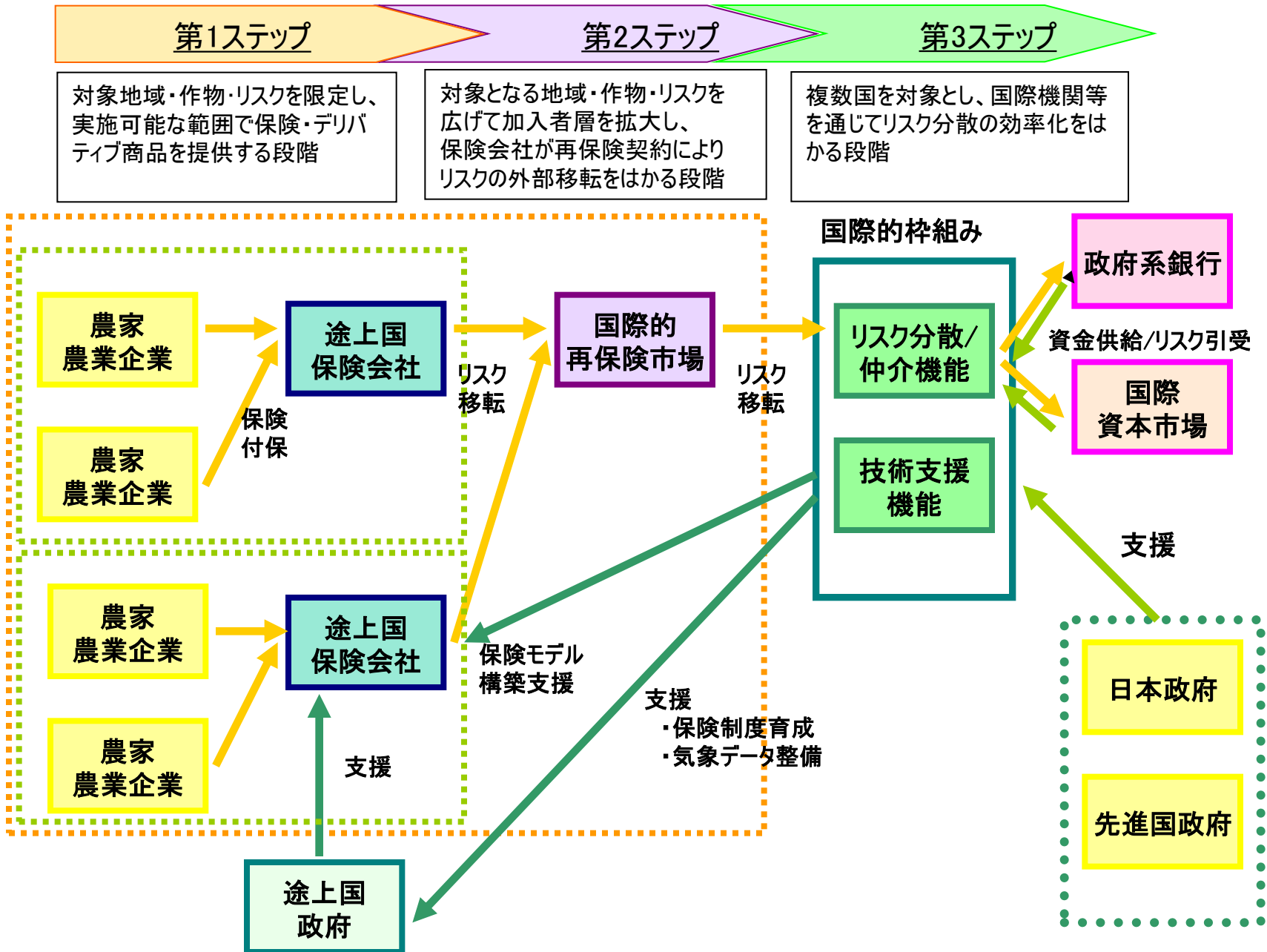


(引用元: <http://en.wikipedia.org/wiki/Burma>)

3. 天候インデックス保険の開発・販売の事例



4. 天候インデックス保険の将来像



天候インデックス保険の開発、普及に効果的である支援は、以下の通りと考えます。

① 開発費用に対する資金支援

② 気象観測インフラ整備支援

③ 現地国当局、関係機関とのネットワーキング

④ 普及フェーズでの財政支援（保険料補助、再保険など）



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。